

PAPER + K

紙だからできる デザインでつなぐ

主催挨拶（683 文字）

株式会社鈴木紙工所は、2020 年に創業 50 周年を迎えることができました。

ひとえに、多くの取引先、関係者の皆様、関わってきた従業員に恵まれ育てていただいたおかげです。ありがとうございます。

先代である鈴木正道が段ボール紙器の加工製造会社として、有限会社鈴木紙工所を昭和 45 年（1970 年）に創業。二代にわたり、多くの方々に支えられて社業にまい進し、これまで、1980 年代の円高不況による輸出業の大打撃、2008 年のリーマンショック、2011 年の東日本大震災など、数々の大きなピンチを乗り越えてきました。

そして今、新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより、社会が大きく変わる渦中のピンチにわたしたちはいます。

こうした状況下で、今、わたしたちができることはなにか。

いまこそ、当社の掲げる経営理念「紙の魅力で未来と世界を切り拓き、人に喜ばれ、社会に選ばれる会社でありつづける」を体現するときではないか。そうした思いから、本プロジェクト「PAPER+K」が始動しました。

12 名のデザイナー、紙商社、印刷会社ら、多大なるご協力をいただき、「紙だからできる、デザインでつなぐ」をコンセプトに、従来の常識にとらわれない、新しい・楽しい紙のプロダクトづくりをはじめました。

つくる人、売る人、買う人、使う人。関わるみんなが、楽しく、楽しむ、楽しませる、紙の魅力と可能性がいっぱいのペーパープロダクト。

どうぞお手にとって確かめてください。紙の面白さに触れてみてください。

本プロジェクトにはプロジェクトメンバーはじめ、多くのご支援、ご縁を賜り厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございます。

株式会社鈴木紙工所 代表取締役 鈴木裕一